

## 令和5年度 視察調査結果報告

### 苦小牧市の生涯学習関係施設を視察して

事務局長 園部 真幸

今回は苦小牧市内の三施設を視察しました。参加者は23名（うち事務局2名）でした。

西部地区にあるのぞみコミュニティセンターは、地域活動や文化活動、スポーツ活動の場に加えて市の出張所としての機能をもった総合的な施設で、地域の幼児から高齢者まで様々な年齢層が親しめる施設でした。

市の中心部にあるアイビー・プラザ（苦小牧市文化交流センター）は、可動席を備えた本格的な多目的ホールに加えて、ギャラリーや各種研修室を有する施設で、貸館のみならず、様々な自主事業・自主事業など充実した取組みを行っていました。

東部地区にある東開文化交流サロンは、昨年12月にオープンしたばかりの新しい施設です。図書館機能と福祉拠点機能を兼ね備えた共生型地域福祉拠点という位置づけで、こちらも盛り込まれていますが、施設内にはカフェも併設されていて、なかなか魅力ある施設でした。

図書スペースの運営には職員さんの工夫が見られ、中でも絵本ホールは子どもたちの興味を惹く作りになっていました。

三施設とも指定管理者による運営とのことでしたが、どこも職員の方が非常に前向きで市民の中に溶け込もうという姿勢が感じられました。指定管理制度についてはいろいろと議論のあるところですが、運営者の姿勢しだいではかなりのことができるという印象をもちました。

生涯学習施設の運営において必要なのは、行政、民間問わず、職員の方のやる気と市民に寄り添う心であるとあらためて感じた視察調査でした。

### 視察調査を終えて

事業委員長 原子 理香

新型コロナウイルスの感染拡大から早4年が経過しました。生涯学習推進協議会から他地区の視察調査が予定されたことから、久しぶりに視察というものに参加しました。

視察場所が苦小牧市とあまり地の利のない土地を視察すると言ったことは江別生まれ江別育ちの私にとつて興味を注がざるを得ない状況を容易に想像させました。視察場所は午前1箇所、午後2箇所セッティングされていました。

1箇所目の苦小牧市ののぞみコミュニティセンターは、大きな料理室と隣りがガラス窓でよく見えるようになっていた幼児プレイルームがあり、保護者同伴でも料理教室に参加できるそうです。

<のぞみコミュニティセンター>



<苦小牧市文化交流センター>



「調査・研究事業」に参加して  
広報委員長 中村康治  
10月4日10時市役所前を出発しました。本日の目的地は苦小牧です。

まず、苦小牧市ののぞみコミュニティセンターに到着しました。平成15年に建造され、体育館・図書室・市出張所を兼ね、住民票や戸籍簿本などが発行されます。館内は、バリアフリーが徹底されていて、廊下と各部屋（和室も）の境に段差がありません。

印象としては、障がいのある方、小さな子どもに対してやさしい施設で、入ってすぐに広いロビーがあり、来館者にやさしい配慮がされていると思いました。

朝食はランドホテルのバイキング形式でしたが、日頃の三倍くらい食べてしまいました。次に、平成10年に建てられたアイビープラザです。ここもバリアフリーで、各部屋間に段差がありません。多目的ホール（360席）は、可動席があり、フラットなフロアから階段状の観客席まで電動で可変することができます。舞台



に上がる移動式の階段に取り外し可能な手摺を設置できる構造になっています。

次に、東開文化交流サロンです。ここは、図書スペース、絵本ホールも併設され、「能動的で多様な図書スペース」を目指しています。

通路はギャラリーを兼ね、広く点字ブロックのある通路となっています。オープンは令和4年12月と



<東開文化交流サロン>

いところで、真新しい施設です。施設が新しいこともありませんが、スイーツを提供するパーラーも併設されており、居心地の良い場所だと感じました。



# 令和5年度 生涯学習リレー講座 「SDGs—全ての人に健康と福祉を」

令和5年11月10日、17日、24日の3週にわたって生涯学習リレー講座が開催されました。今回は、第1回目の講座内容について紹介します。

## 講座1 「SDGs 概論」

講師 北海道大学サステイナビリティ推進機構 教授 加藤 悟氏

お話の中で特に印象に残ったところを掻い摘んでまとめると、MDGs（ミレニアム開発目標／2000）では、貧困などの問題を抱えた発展途上国に対し先進国が支援するといった視点がベースになっていたが、SDGs（持続可能な開発目標／2015）の新しい視点は、先進国⇄発展途上国、男性⇄女性、白人⇄黒人、金持ち⇄貧困層、外人⇄邦人といった二分法的な考え方を改めて、フラットな視点から環境・社会・経済の3つの側面のバランスの取れた持続可能な開発を目標にしたというところでしょうか。

しかし、実際に環境・社会・経済を調和させながら「開発」を進めるといのは、簡単なものではないというところでしょうか。

今回のテーマは少々難しかったかもしれませんが、53名の参加者からSDGsの意義について詳しく説明されていました。

講師の加藤先生は、非常にバランスの取れた考え方の持ち主で、そうした指摘も十分に踏まえながらSDGsの意義について詳しく説明されていました。



**入場無料**

令和5年度生涯学習リレー講座  
(すべて市民カレッジ・市民カレッジ連携講座)

# SDGs

全ての人に健康と福祉を

会場/江別市民会館 3階 37号室 (江別市高砂町6番地)

**講座1** 令和5年11月10日(金)  
18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)  
「SDGs 概論」  
講師:北海道大学サステイナビリティ推進機構 教授 加藤 悟氏

**講座2** 令和5年11月17日(金)  
18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)  
「健康寿命を延ばすための食とは」  
講師:北海道大学病院栄養管理課 副部長 熊谷 聡美氏

**講座3** 令和5年11月24日(金)  
18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)  
「地域の健康づくり—フレイル予防と健康体操」  
講師:北海道大学大学院保健科学研究科 准教授 櫻川 美奈氏

■申込受付:10月22日(月)から申込受付終了まで  
■申込方法:電話、メール、FAX、申込書郵送より受付いたします。FAX、郵送の場合はチラシ裏面の「参加申込書」をご利用ください。電話、メールの場合は、お名前、ご連絡先、電話番号、受講希望講座をお知らせください。

○申し込み、問い合わせ先/江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習部内)  
〒067-0074 江別市高砂町24番地の6  
TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434  
E-mail: shougai@city.ebetsu.lg.jp

江別市生涯学習推進協議会ホームページ: http://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会/

<主催> 江別市生涯学習推進協議会

## 支援事業終了報告



おはなしなあと

代表 鈴木 紀子

2023年10月8・9・10日の3日間、生涯学習推進協議会の支援金を活用させて頂き、40周年おはなしなあとにスペシャル!! よんで・つくって・あそんで・たのしんで! を開催しました。大森公民館キヤラリーを会場に40年間の「おはなしなあと」で演じてきた人形劇、おはなしばね、ボードビル他すべての作品を展示し自由に触ってもらえるようにしました。蔵書絵本も手に取って自由に見たり、リクエストおはなし会と称して随時読み聞かせも行いました。

9日には絵本作家堀川真さんをお招きし工作のワークショップを開催、遊べるおもちゃを作りました。参加者の皆さんは堀川さんの楽しく温かい指導に笑ったり話したり和気あいあいとした時間を過ごし、製作後は出来上がった動くおもちゃで遊ぶ時間をたっぷり楽しんで嬉しみました。終了時間になっても堀川さんの熱意ある指導は続き、参加者の方も終わりを惜しむほどでした。

3日間の来場者は150名を超え、楽しかった、面白かった、またやってほしいと感想をいただき、大成功で終わることが出来ました。支援金を頂いたことで素晴らしい事業を行うことができ感謝しております。本当にありがとうございました。

は最後まで熱心に講師のお話を耳を傾けていました。SDGsに掲げられた目標は、何も国だけに課せられた目標ではありません。未来を見据えて、私たち一人一人が問題意識をもって取り組んでいかなければならない課題であると感じました。

(文責:総務委員長 園部真幸)



## 訃報のお知らせ

江別市生涯学習推進協議会の顧問で前会長である谷川 幸雄様が去る十月二十八日に逝去されました(享年八十六歳)。なお、ご葬儀、告別式は十月二十九日、三十日に厳粛に執り行われました。

ここに謹んでお悔みを申し上げ、お知らせいたします。故人は、平成十五年年度に三代目会長に就任されて以来、令和三年度まで十八年間の長きにわたり当協議会を先導していただき、会の発展と生涯学習活動の普及及び促進に多大なる貢献をされました。会長を退かれた後も、引き続き顧問として当協議会の活動を支えてくださいました。

このたびの訃報に接し、悲しみにたえません。会員一同、故 谷川 幸雄 様の遺志を受け継ぎ、江別市生涯学習推進協議会のさらなる発展に尽力する所存です。

手話をまなぼう

## 「趣味」

「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただくと、手話の動画がご覧になれます。今回は「趣味を表す手話」です。



右手の親指と4指を



ほおをすべらせながら握る

## これからのイベント

- ◆江別子ども劇場 (連絡先/井谷:011-383-9661)
- 親子雪あそび会  
日時/令和6年2月23日(金・祝)  
13:00~16:00  
場所/飛鳥山公園  
内容/そりあそび・雪中ミニゲーム  
※詳細はお問い合わせください。

## まなぼう Vol.21

おはなしなあと

松山 和子

「おはなしなあと」には、小さなお子様と絵本や手遊びやわらべ歌などをたのしみながら、子育ての貴重な時間を大切にそして笑顔ですこす場所と時間を作ります。時には子育てのヒントやお悩み相談も一緒に活動するお仲間もいつでも募集中です。

〔連絡先〕

おはなしなあと 代表 鈴木 紀子  
090-15077-3321

## 生涯学習推進協議会のホームページ

生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これらのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧ください。



## 《編集後記》

「う・ら・ら」にQRコード方式が加わることにより情報の共有化が進み協議会活動が一段と幅広く深くなっていくものと思えます。同時に、広報担当の私達の責任も重くなるのでしっかりと自覚して取り組みたいと思います。

鈴木 之男